

# 競技上の注意

## 1 競技規則

2025 年度オフィシャルソフトボール・ルールによる。

- ① 試合時間は 90 分とし、時間を超えて新しいイニングに入らない。制限時間経過後同点の場合は、次イニングよりタイブレークにより試合を続行する。ただし、タイブレークは 2 イニングまでとし、それでも同点の場合は抽選により勝敗を決定する。なお、決勝戦および 3 位決定戦は時間制限を設けず、オフィシャルルールに則り試合を行う。
- ② 得点差によるコールドゲームはオフィシャルルールに則り、全てのゲームに採用する。
- ③ サスペンデッドゲームを採用する。
- ④ 天候や競技場の状況により、試合時間に変更がある場合は、主管支部の指示に従ってください。
- ⑤ フィールドイングは、最初の試合のみとする。ただし、グラウンドが変わった場合は認める。

## 2 開会式及び監督会議

- (1) 開会式は行いません。
- (2) 監督会議については、第 1 日目の各試合会場において午前 8 時 30 分より行う。  
○健康広場会場：A 面バックネット前

## 3 選手の集合時間

プレイヤーは、前の試合の3 回終了時までに当該球場に集合すること。  
※試合の進捗状況によっては開始時間の変更があるのでご注意ください。

## 4 打順表の記入と提出

前の試合の 3 回終了時に（会場移動後続いて試合を行う場合は当該球場に到着後速やかに）、あらかじめ配布された打順表に、必要事項（必ず「ふりがな」をつける。）を記入し、当該本部（バックネット裏）に提出すること。相手チームの打順表は、審判員及び記録員の照合確認後、審判員がそれぞれのチームに手渡す。

## 5 攻守順の決定

攻守順の決定は、打順表提出のとき審判員立会いのもと「コイントス」によって決定する。コインの表裏の選択は、打順表持参の先着チームに優先権を与える。

## 6 競技者席（ベンチ）

- (1) ベンチは、組合せ番号の若い方を一塁側とする。
- (2) 競技場の中に入れる人員は、登録人員（引率責任者 1 名、監督 1 名、コーチ 2 名、選手 25 名以内、トレーナー 1 名、スコアラー 1 名（有資格者））とする。

## 7 競技用具

- (1) （公財）日本ソフトボール協会検定 3 号ゴムボール（ナガセケンコー）とし、各チーム持参（試合毎に 2 個）とする。ただし、準決勝以降は主催者が提供する。
- (2) バット、ヘルメット等の用具について、毎試合開始前に規格、損傷の有無を確認し、規定外のもの及び危険と思われるものは、主催者が当該球場本部で預かる。試合終了後に受け取ること。

## 8 フィールドイング

- (1) 競技場に入ることを許され、ユニフォームを着用したメンバーのみで行うこと。
- (2) 後攻チームより 5 分間（終了予告 1 分前）とする。
- (3) 大会運営の関係で時間を短縮したり、省略することがあるので予めご了承ください。

## 9 抗議

- (1) 審判員の判断に基づく判定に対して、抗議することはできない。
- (2) ルールの解釈・適用間違いについては抗議できるのは監督（監督代行）だけである。

## 10 荒天時の確認

- (1) 試合開始予定時刻等は、大会運営の状況により変更する場合があるので、大会本部からの連絡には注意すること。原則チームへの連絡は LINE で行う。
- (2) 悪天候等に伴う日程変更については、大会本部から各チーム連絡責任者に連絡する。
- (3) 少雨の場合でも日程の都合上、球場が使用可能な状態の場合は試合を行う。  
（雨天等問い合わせ先）

いび川ソフトボール協会 理事長  
鳥本春一 090-1989-2328  
いび川ソフトボール協会 事務局長  
今井正徳 090-7953-4983

## 11 その他

- (1) 参加チームは必ず引率責任者又は監督に引率され、選手のすべての行動に対して責任を負うものとする。
- (2) トレーナーの服装は、平服又は運動ができる服装とする。また、トレーナーは采配等の行為は一切できない。
- (3) 選手の傷害については、主催者は一切責任を負わない。
- (4) 前年度優勝チームは、優勝旗を持参すること。
- (5) 出場チームは、各自プラカードを作成し持参すること。（大きさは自由）
- (6) 使用バットは、J S A検定マークの入った3号バットとする。
- (7) 金属製、セラミック製のスパイクは使用禁止とする。
- (8) 喫煙所以外での喫煙を固く禁じます。喫煙所以外での喫煙を発見した場合は退場もあり得ますので関係者に周知をお願いします。（協会決定事項）
- (9) ゴミは各自持ち帰ること。